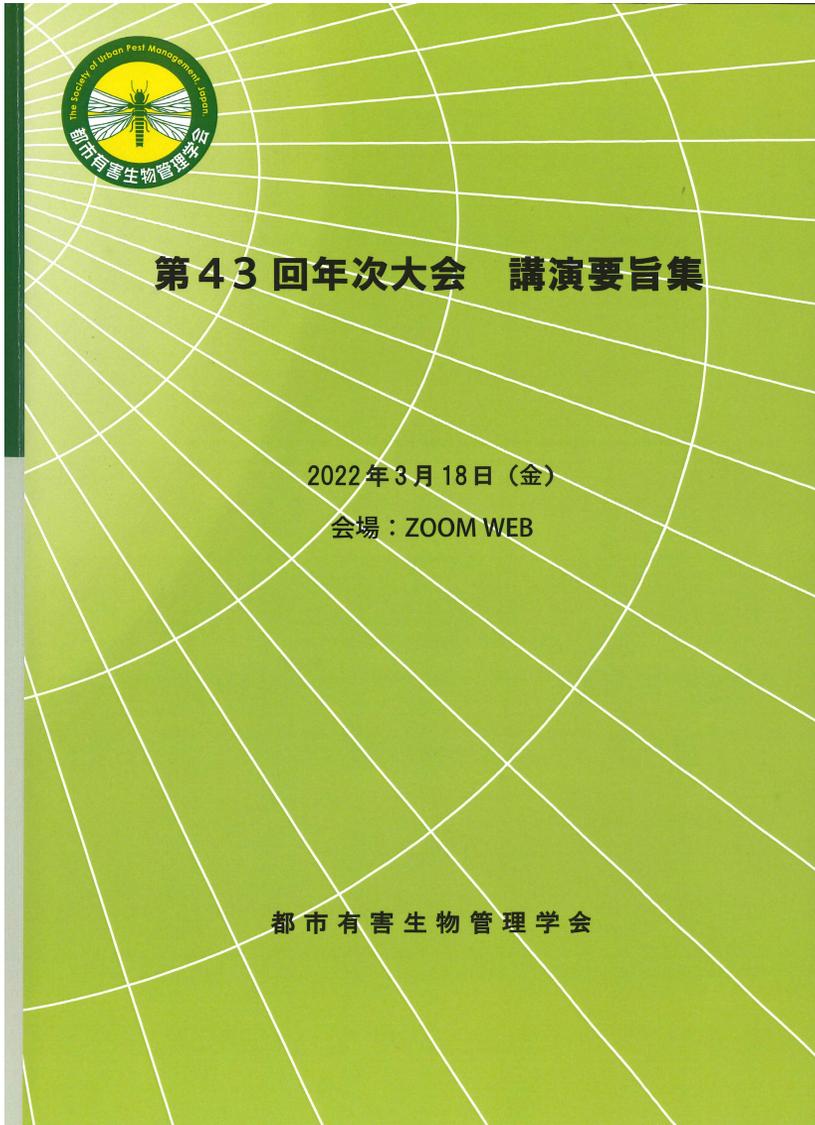


【タイマヒドン大学での実験室の結果について 学会発表】 - 都市有害生物管理学会



ハイドロ銀チタンを用いた病原体媒介蚊のコントロールの可能性 Possibility of pathogen-borne mosquito control using hydrosilver titanium

Raweewan Srisawat¹⁾, Patchara Sriwichai¹⁾, Jirapom Ruangsittichai¹⁾, Chawarat Rotejanaprasert^{2,3)}, 今泉菜穂子⁴⁾, 八巻 大⁴⁾, 前川真季⁵⁾, ○江下優樹⁶⁾, 岡崎成実⁴⁾ (¹⁾Department of Medical Entomology, Faculty of Tropical Medicine, Mahidol University, Thailand; ²⁾Department of Tropical Hygiene, Faculty of Tropical Medicine, Mahidol University, Thailand; ³⁾Mahidol-Oxford Tropical Medicine Research Unit, Faculty of Tropical Medicine, Mahidol University, Thailand; ⁴⁾DR.C 医薬・株; ⁵⁾セルテック・株; ⁶⁾北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所)

Raweewan Srisawat¹⁾, Patchara Sriwichai¹⁾, Jirapom Ruangsittichai¹⁾, Chawarat Rotejanaprasert^{2,3)}, Naoko Imaizumi⁴⁾, Dai Yamaki⁴⁾, Maki Maekawa⁵⁾, ○Yuki Eshita⁶⁾, Narumi Okazaki⁴⁾ (¹⁾Department of Medical Entomology, Faculty of Tropical Medicine, Mahidol University, Thailand; ²⁾Department of Tropical Hygiene, Faculty of Tropical Medicine, Mahidol University, Thailand; ³⁾Mahidol-Oxford Tropical Medicine Research Unit, Faculty of Tropical Medicine, Mahidol University, Thailand; ⁴⁾DR.C Medical Medicine Co., LTD.; ⁵⁾Seltec Co. LTD.; ⁶⁾International Institute for Zoonosis Control, Hokkaido University)

デング熱・マラリアなどの感染症は、蚊が媒介する疾患である。これら疾病に対するワクチンが未だに実用化されていないことから、感染症を予防・阻止するための要は蚊対策である。蚊の制圧方法として、薬剤を用いた化学的防除、蚊帳・ファン付LED吸引トラップ装置を用いた物理的防除、天敵を用いた生物学的防除などに加えて、組換え蚊による遺伝的防除など多岐にわたる方法が試みられている。しかし未だに蚊は制圧されていない。2019年の第40回都市有害生物管理学会学会の大会で、我々は「蚊に対するハイドロ銀チタンの効力について」という演題で、国内産蚊の評価・発表をおこなった。今回は、デング熱媒介蚊のネッタイシマカ *Aedes aegypti* とマラリア媒介蚊のダイラスハマダラカ *Anopheles dirus* に対するハイドロ銀チタンの室内効力試験をタイマヒドン大学で実施した。その結果、前報と同様に、ハイドロ銀チタンに暴露した幼虫由来の成虫の羽化率が有意に減少した。その利用は、蚊対策の一助になる可能性が示唆された。